

英国金融政策（2024年11月）

市場予想通り0.25%ptの利下げ

2024年11月8日

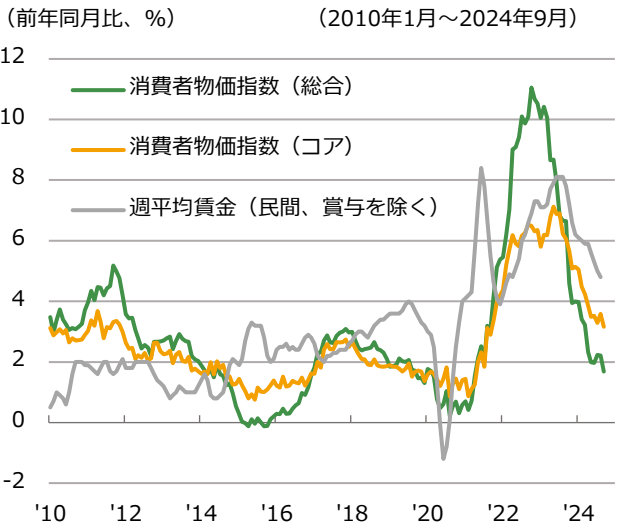
金融引き締め解除は引き続き漸進的に

BOE（イングランド銀行）は11月6日（現地、以下同様）に終了した金融政策委員会（MPC）で、政策金利を5%から4.75%に引き下げる決定をし、7日に発表しました。BOEは昨年8月の利上げを最後に政策金利を据え置いていましたが、丸1年を経て今年の8月に利下げに転じました。前回9月のMPCでは利下げを見送りましたが、今回は8対1の票決で市場予想通り0.25%ptの利下げを決定しました。

BOEは利下げの理由として、デフインフレの継続的な進展を挙げています。実際、消費者物価指数は9月に前年同月比（以下同じ）+1.7%と目標値の2%を下回り、2021年4月以来の低い伸びとなりました。サービス価格や賃金の伸びも、依然高いながらも、鈍化基調で推移しています。足元の消費者物価指数についてはエネルギー価格の下落の影響が大きく、10月末に発表された政府の予算案も勘案した上で、伸び率は再び2%を上回った後、2027年4-6月期に改めて2%を下回ってくるとのBOEの見通しです。

今後について声明文では、「インフレが中期的に2%の目標値に持続的に回帰することへのリスクが更に消失するまで、金融政策は十分に長い間引き締めであり続ける必要がある」、「金融引き締め解除には漸進的な取り組みが適切」、「適切な金融引き締め度合いを各会合で決定する」との文言を踏襲しています。実際、財政政策や米国の政権交代の影響を見極めながらの対応になりそうで、2025年末までを通じて四半期毎に0.25%ptの利下げを実施すると当社は引き続き予想します。

英国の消費者物価指数と週平均賃金



※コアは食品・エネルギー・アルコール・タバコを除く系列
※週平均賃金は3カ月移動平均で2024年8月まで
(出所) 英国統計局

英国の金利と為替



※政策金利は発表日ベース
(出所) ブルームバーグ

当資料のお取扱いにおけるご注意

- 当資料は投資判断の参考となる情報提供を目的として大和アセットマネジメント株式会社が作成したものであり、勧誘を目的としたものではありません。投資信託のお申込みにあたっては、販売会社よりお渡しする「投資信託説明書(交付目論見書)」の内容を必ずご確認ください。
- 当資料は信頼できると考えられる情報源から作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。運用実績などの記載内容は過去の実績であり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。記載内容は資料作成時点のものであり、予告なく変更されることがあります。また、記載する指数・統計資料等の知的所有権、その他一切の権利はその発行者および許諾者に帰属します。
- 当資料の中で個別企業名が記載されている場合、それらはあくまでも参考のために掲載したものであり、各企業の推奨を目的とするものではありません。また、ファンドに今後組み入れることを、示唆・保証するものではありません。